

令和6年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名: 姶良・伊佐地域振興局農政普及課

課題名③ 新規就農者の確保・定着に向けた支援(姶良)					
項目	評価の視点	評価結果(人)		外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
		適當	概ね適當		
課題の設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	5	1		
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	4	2		
活動体制・活動方法	③関係機関とうまく連携して取り組まれていたか	4	2	⑥巡回や研修が多く、良い取組だと思った。	
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であったか	5			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3	3		
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3	2	①1、2年で効果が出るものではないとの意見で評価できないとの回答。	次年度以降も普及計画に位置づけ、関係者や各機関・団体と継続した連携・情報共有を図りながら取組強化を図る予定です。
活動の波及性と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	3	2	①1、2年で効果が出るものではないとの意見で評価できないとの回答。 ②巡回の強化など充実してくるとさらによくなると思った。	関係者や各機関・団体と支援方法の見直しや改善策について随時検討し、フォローアップの継続を図っていく予定です。
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	4	1		
全体的な意見・提言等		②就農者に対する研修参加としての戸別訪問などはよい取組と思う。 ③新規就農者は多様な価値観で農業に関わろうとされているように思います。自分も経験に基づく価値観を強制しないように心掛けていますが、悩むときもあります。それぞれの価値観が実現できるように支援していくだけなら同じ農業者としてありがとうございます。 ④まとめに指摘されている内容を必ず実施されたい。 ⑤新規就農者の確保のためにいろいろな支援や資金があることを知った。たくさんの方々が動いている中で定着して農業を続けてもらえるまでの情報交換などはとても大切になるなと感じた。とても分かりやすく参考になった。 ⑥新規から認定へ、生計が成り立つ農業が出来る割合が増えていくように農家と関係機関がもっと密になればいいと思った。		就農までの経緯や環境、農業・経営技術等の習熟度は異なるので、全体的な支援と並行して、個々に対応した支援を進める必要があると考えています。それぞれの役割が生かせるよう今後も関係者・各機関・団体との連携を密にして活動を展開させていきたいと思います。	

令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 始良・伊佐地域振興局農政普及課

課題名③ 新規就農者の確保・定着に向けた支援(始良)		評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
項目	評価の視点	適當	概ね適當	要改善		
課題の設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	4	3		⑦「新たな農業者確保・育成」が課題であるのに、別途普及課題が後に3つ出てくるあたり、主の課題が何かぼやける。	課題は対象ごとに整理しています。活動として重複・運動する部分もありますが、課題ごとの取組が明確になるよう整理するようにします。
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であったか	4	3		⑦対象を「担い手」の中でも、新規就農者、認定新規就農者を対象としているが、課題解消を行うためには、新規就農者になる前の人材を対象とすべきではないか。となると、概ね適當とはするものの対象、成果がぶれる。	就農前は相談があつてからの把握になりますが、可能性や掘り起こしも含め、農大生等や就農前人材の情報収集に努めます。
活動体制・活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	6	1		⑦取組方に問題がないと見えるので適當。 活動方法、時期、手段について特別記述がないので概ね順調に成果を挙げたと考える。しかし、新規就農相談を受けた9名のフォローについて活動展開した手法・成果の方が気になる。専門技術や情報の活用事例は分からぬが、各普及員、市道農業士等の技術普及や情報提供があつたものと察する。	就農相談時点で相談者のこれまでの経緯や環境、農業・経営技術等の習熟度は異なるため、その後どのように進めらるいかも異なり、すぐに就農に至る方は少ない現状です。技術の習得、農地確保や施設・機械等の整備など、優先順位に応じた支援など迅速に対応できるよう、今後も関係者、各機関・団体と情報共有と連携を強化していきたいと思います。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であったか	3	4			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	5	2			
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	6	1		⑦離農者防止も成果と考えると成果が上がっているものと見えるが、直近の成果も見せるべき。 対象が新規就農者にされているのであるとしても課題解決した数値を示す必要がある。本人らがどのような課題解決をしたという表現がなければ計れない。	新規就農者含め、農業者それぞれの課題は、深く踏み込まないと把握しきれないのが現状です。まずはフォローアップの継続を図り、支援が必要な緊急性、内容に応じた重点的な課題解決支援を強化したいと思います。
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか		7			
活動の波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	2	5		⑦成果が大いに上がった記載もなく、他の振興局で同様のことをやっていない事業として導入する支援パッケージとの説明がないため推測概ね良。対策も良いと思われるが、一つ目に対象が変更になること、二つ目に結果を別途設定したこと、三つ目に取組内容も多数変更されたことについて、説明が欲しかった。	計画に沿って活動、成果をあげられるよう努めたいと思います。
	⑨結果が十分でないものは今後の対策を考えられているか	1	6			
全体的な意見・提言等		①新規就農者が1~2年で離脱するがないように関係機関と一緒に支援に努めていただきたい。 ③今後も指導農業士、関係機関と連携した専門性の高い営農指導を進めていただきたい。 ④新規就農者の確保については、国の補助金が投入されてもなお、増加することは大変厳しい現実があります。あらゆる手立てを講じても劇的に増加に転じることは想定しがたいと思います。関係機関と一緒にした取組を、粘り強く地道に継続するしかないと考えます。 ⑤県全体の認定農業者の減少率と比較すると始良管内は緩やかであるのは、振興局をはじめ関係機関の支援の成果と考える。新たな農業者の確保育成には就農までのプロセスが異なる上、売上が安定するまでの生活資金など様々な課題を抱え、就農後の生活支援などクリアすべき課題も多いため、今後も様々な取組をしながら支援をお願いしたい。 ⑥就農するにはほ場、農業機械の確保など、初期投資が多い中、収益を得ることは大変である。そこで就農をめざす新規就農者への支援は重要であるため、引き続き関係者とサポート体制を構築して支援を行っていただきたい。 ⑦県はどのような評価で、外部者の視点を求めていたといつた活動であると考えるが、内部で評価されたものを示したうえで外部評価者への評価依頼をされてはいかが。				

※ 「外部委員から意見・提言」に対して「改善策や普及指導計画への反映等」が連動するように記載してください。

姶良地域を支える担い手の育成

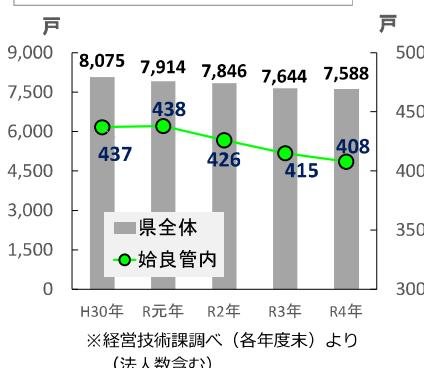
～新規就農者の確保・定着に向けた支援～



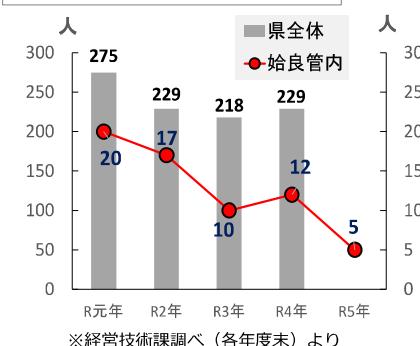
姶良・伊佐地域振興局農政普及課

姶良地域における担い手の現状と課題

認定農業者(戸)の推移



新規就農者(人)の推移



担い手農家は減少傾向

→ 新たな農業者の確保・育成が重要

担い手（対象）とは

○認定農業者

○担い手確保・育成支援事業対象農家
(R6～8年実施, 29戸・1集落法人)

○新規就農者（新規参入者）, 認定新規就農者

○青年農業者, 女性農業者

○地域計画モデル地区 中心経営体

普及課題 姉良地域を支える担い手の育成

1 担い手農家の経営安定支援

- (1) 担い手農家の支援体制整備
- (2) 担い手農家の経営発展支援
- (3) 6次産業化志向農家の経営改善取組支援

2 新規就農者の定着・支援

- (1) 新規就農者の定着支援

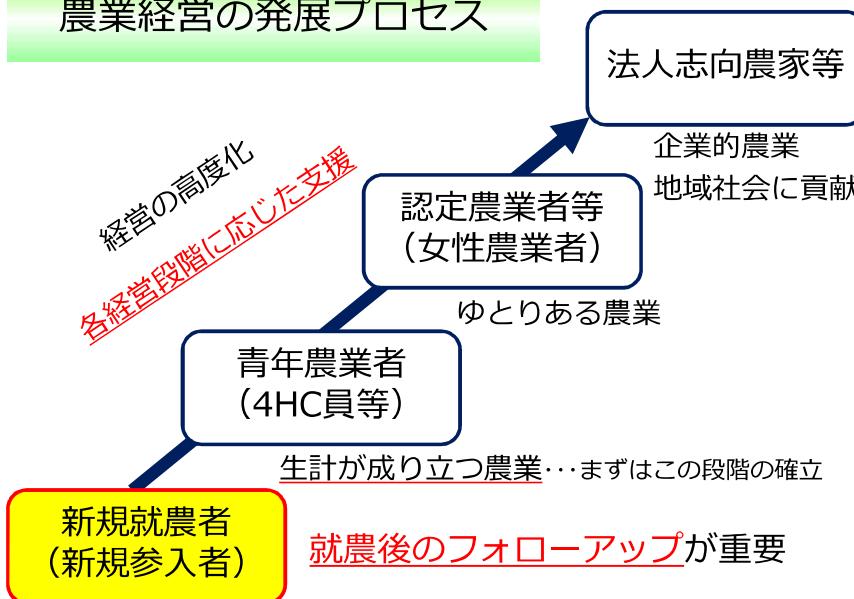
3 青年農業者の育成・支援

- (1) 青年農業者の育成
- (2) 青年組織活動の充実・支援

4 女性農業者の育成・支援

- (1) 新たな女性リーダーの育成・確保
- (2) 女性農業経営士の組織活動支援
- (3) 食育・地産地消の推進・活動支援

農業経営の発展プロセス



新規就農者確保・定着支援の具体的方策

- 1 関係機関との情報共有及び連携強化
○支援体制整備
- 2 技術習得及び経営管理能力向上支援
○個別巡回（指導農業士と連携）
○各種研修の開催
- 3 就農準備・開始及び定着支援
○営農計画作成支援
○支援事業活用や資金借入後のフォローアップ

取組内容①
就農前相談

取組内容②
**支援体制整備
及び連携活動**

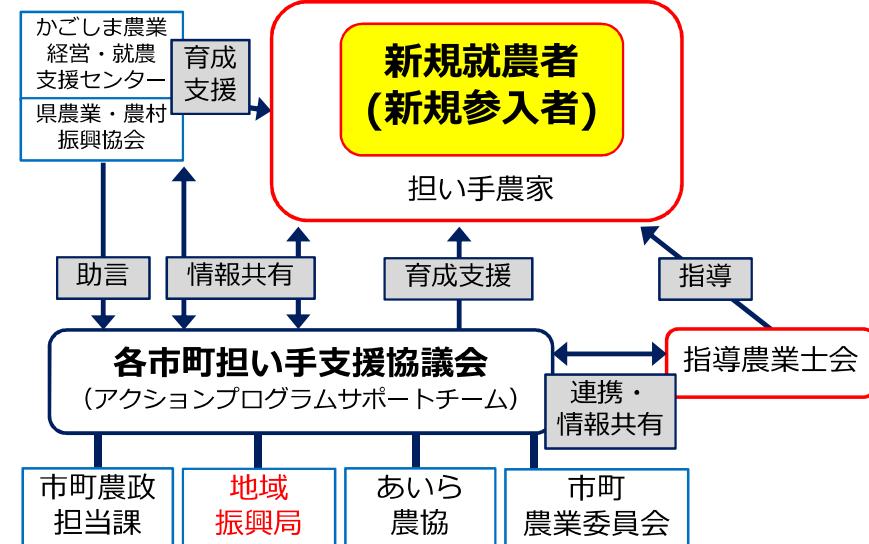
取組内容③
就農定着支援

取組内容④
**就農後の
フォローアップ**

新規就農者確保・育成における現状と課題

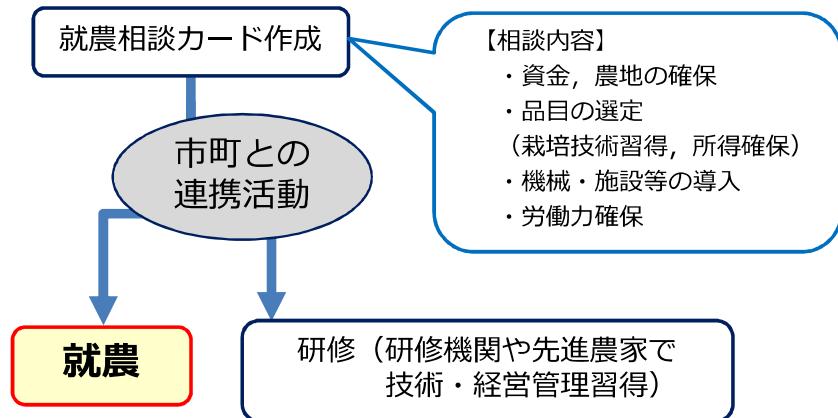
- 1 就農までの状況、プロセスが異なる
- 2 生産技術等の不足
○栽培初心者、経験が浅い
○栽培技術習得度が異なる
- 3 売上が得られるまでの生活資金（自己資金）が不足
○初期投資が大きい
○資材高騰

支援の活動体制



取組内容① 就農前相談

就農相談の実施・支援の流れ



就農に対する意欲と資金面等での準備状況を確認

取組内容① 就農前相談

就農相談の実施状況と情報共有

本年度の就農相談状況：10件（振興局、1月末現在）

年代	20代：1人, <u>30代：4人</u> , <u>40代：4人</u> , 60代：1人
性別	男性：5人, 女性：3人, 夫婦(またはパートナー)：2組
居住地	管内：5人(霧島市：3人, 始良市1人, 湧水町1人) 県内：2人(日置市, 鹿児島市), 県外3人
就農形態	<u>新規参入：9人</u> , Uターン：1人
栽培希望品目	野菜(施設,有機)：3人, 水稲・サツマイモ：2人, その他：3人 <u>決めていない：4人</u>
相談内容	農地の確保：7人, <u>技術習得：4人</u> , ほか資金面, 就農までのみちすじ, 各種支援策・住宅情報 など

各市町でも相談対応を実施し、相互に情報共有。
令和7年2月に1人就農

取組内容② 支援体制整備及び連携活動

扱い手担当者会等や密な連携による情報共有

- 各市町担当者を召集し、課題共有と意見交換
- 就農相談状況や情報交換は、随時実施
- 姶良地区指導農業土会役員会でも検討



取組内容① 就農前相談

就農相談の実施状況と情報共有

本年度の就農相談状況：10件（振興局、1月末現在）

年代	20代：1人, <u>30代：4人</u> , <u>40代：4人</u> , 60代：1人
性別	男性：5人, 女性：3人, 夫婦(またはパートナー)：2組
居住地	管内：5人(霧島市：3人, 姶良市1人, 湧水町1人) 県内：2人(日置市, 鹿児島市), 県外3人
就農形態	<u>新規参入：9人</u> , Uターン：1人
栽培希望品目	野菜(施設,有機)：3人, 水稲・サツマイモ：2人, その他：3人 <u>決めていない：4人</u>
相談内容	農地の確保：7人, <u>技術習得：4人</u> , ほか資金面, 就農までのみちすじ, 各種支援策・住宅情報 など

各市町でも相談対応を実施し、相互に情報共有。
令和7年2月に1人就農

取組内容② 支援体制整備及び連携活動

対象者訪問と新規就農励ましの会開催(6,7月)



- 事前にリストアップと巡回訪問
- 人と人・横のつながり、研修案内、各農業組織概要、各種制度等を説明

取組内容② 支援体制整備及び連携活動

支援体制整備や連携活動を通した見直し

- 各市町担当者間の密な情報交換や連携強化が重要であることを確認。

【今後の開催方法】

- ・定期的担当者会の開催
- ・テーマを決めた意見交換
- ・参集範囲の拡大

- 指導農業士会からも、密な連携・支援強化のための情報共有の徹底、巡回方法の見直しなど積極的な意見が出された。

取組内容③ 就農定着支援

現地就農トレーナー研修（新規就農者巡回）



指導農業士から助言

- 指導農業士に、事前に対象者の状況・段階がわかる情報を提供
- 指導農業士と連携し、出席者は場を巡回訪問 現在の課題や今後の目標聞き取り、助言・指導

取組内容③ 就農定着支援

基本技術習得支援 講座制研修の開催（8、9月）

研修前は個別訪問を行い、研修案内と参加誘導を図った



経営基礎講座

農業基礎講座

- 経営基礎講座（経営及び複式簿記の基礎）

- 農業基礎講座（土壌肥料、農業機械・農作業安全、病害虫講座）

取組内容③ 就農定着支援

現地就農トレーナー研修（部門別研修）

（作物、園芸・有機、茶、畜産部門で実施）



指導農業士による講演（畜産部門）



指導農業士と意見交換（園芸・有機部門）

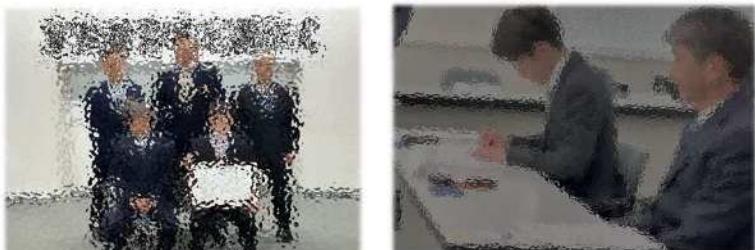
取組内容③ 就農定着支援 研修後の反応、変化

- 研修前の戸別訪問・参加誘導で出席率アップ
- 経営基礎講座に出席した4名のうち、
2名がパソコン簿記実践研修にも参加
- 農業基礎講座でアンケートを実施
理解度確認：5段階評価で平均4
- 事前の情報提供で、指導農業士の具体的な助言・指導につながった。
- 各研修会では抱えている悩みや質問など
積極的に出され、研修意欲の醸成が図られた

取組内容④ 就農後のフォローアップ 各市町サポートチーム巡回 次世代人材投資資金等受給者等の継続支援



取組内容④ 就農後のフォローアップ 家族経営協定締結に向けた誘導



家族経営協定農家数(積上)(戸)

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
当年度締結数	3	4	2	(2)
締結数(計)	107	111	113	(115)

取組内容④ 就農後のフォローアップ 新規就農者の定着状況(見込み)

新規就農者の定着率の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
新規就農者数	21	15	15	10	12
離農者数	1	0	1	1	0
定着率(%)	95	100	93	90	100

- 平成30年以降、90%以上を維持(目標 90%以上)
- 補助金受給者の中には、補助金頼みのまま軌道に
乗らず、離農、給付金の返済に至るケースあり

まとめ

取組内容① 就農前相談

- 就農相談での課題抽出、計画の明確化が重要

取組内容② 支援体制整備及び連携活動

- 担い手担当者会・指導農業士会役員会等での検討で、情報共有と連携強化の重要性を確認

取組内容③ 就農定着支援

- 事前の個別訪問と指導農業士への情報提供により各種研修会への参加誘導、効率的な助言・指導を実践

取組内容④ 就農後のフォローアップ

- サポートチームで就農計画の履行状況を確認、具体的な継続支援を展開

今後の目標

経営者としてのステップアップ

姶良地区における新規就農者から認定農業者への移行状況

(H26.4.1～R1.4.1)



※農政普及課調べ(各年度末)より

- 新規就農者から認定新規就農者への誘導

- 認定新規就農者から認定農業者への移行誘導

次年度の取組

- 1 指導農業士・関係機関との情報共有及び連携強化
継続
- 2 技術習得及び経営管理能力向上支援
①自己課題解決能力の向上
- 3 就農準備・開始及び定着支援
②支援事業活用や資金借入前後のフォローアップ
③経営継承(第三者継承)支援
④農地の確保(流動化)対策